



環境支援士

発行日 2025年3月31日

発行責任者: 滋賀大学「環境学習支援士」会

理事長 橋田卓也

第33号 編集責任者 奴賀義春

URL: <http://www7b.biglobe.ne.jp/~shienshikai425/>

Email: shienshikai@yahoo.co.jp

2024年度第14回滋賀大学環境シンポジウム

文責 松村順子

テーマ「プラスチックごみ問題をどう解決するのか」

12月14日(土)13時～17時、滋賀大学大津サテライトプラザにて、第14回シンポジウムを開催しました。2024年11月、国際プラスチック条約が未成立だったため、人々のプラごみ問題解決への関心が高まった時の講演会となり、革新的な話を聞けるのではないかと熱心な参加者47名集まりました。基調講演1では「海洋プラごみ問題解決のための世界社会生態系モデルの構築」という話を立命館大上原拓郎教授からお聞きしました。海洋プラスチックゴミの世界推計、大阪ブルーオーシャンビジョンのシナリオやオーシャンクリーンアップなどの実践例から、海洋プラスチックごみの回収量を増やすことはかなり困難だというお話でした。しかし世界的生態系モデルについて触れた具体的なお話はなされず、疑問と不安が湧くばかりでした。基調講演2では、「生分解性プラスチックの開発」のお話を、大阪大学大学院工学科の宇山浩教授からお聞きしました。どうプラスチック生産量そのものを減らしたらよいのか、海洋プラスチック問題の中でも生態系への影響が危惧されているマイクロプラスチック問題をどう解決したらよいのか。特に注目される海洋性生分解性プラスチックについて興味深い話をお聞きできたと思います。生分解性プラスチックの技術開発をしておられる宇山先生だからこそその現実や今後の展望も知ることができました。中でも「生分解性プラスチックが、プラスチックごみ問題を解決することはできない」との言葉は、真実であって先生の本音ではないのでしょうか。プラスチック問題を解決するのは、人々の環境意識の高さではなく行動変容を促す社会の仕組みだと教えていただきました。今回のシンポジウムのアンケートでは、参加者の88%の方が満足したとの回答がありました。みなさんの熱心なご参加に感謝いたします。

*このシンポジウムでは、企画プロデュースをした故橋本繁氏が亡くなられる直前まで成功を気遣っておられました。このような成功裏に終わることができましたことは、なによりの手向けとなったと思っています。橋本氏のご尽力に感謝するとともに、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。



基調講演1 上原 拓朗先生



基調講演2 宇山 浩先生

長浜びわこフローティングスクール説明会に出席の報告

文責 奴賀義春

令和7年度フローティングスクールの説明会が令和6年4月18日(木)10時より15時30分まで長浜市のまちづくりセンターで実施されました。小学校5年生の担当の先生方が出席されました。合計33名の先生が参加されました。今回一人での参加でしたが、余裕をもっての参加ができました。

何人かの先生が顔見知りの方もいて、余裕のある対応ができました。これからも一人での対応もOKです。お呼びがかかるか否かが問題ですので、精一杯の対応ができたと思えます。滋賀大学環境学習士会も人数が減少していることもあり、自信を持った対応が出来ているのは大きな収穫でした。



長浜市まちづくりセンター

県庁でのびわこフローティングスクール説明会にて 文責 奴賀義春(前田・橋田)

昨日の長浜のびわこフローティングスクール説明会に続いて、令和6年4月19日10時より15時30分まで県庁の新館において滋賀県南部の説明会を実施されました。内容的には昨日の長浜と当然同様な内容でした。

昨日同様小学校5年生の担当の先生方が67名参加されました。今回は当方の対応の人が多かったこともあり、余裕でした。

滋賀大学の環境学習支援士会の人数も少しずつ減少していることが不安ですが、一人でもなんとか20校は熟せる自信ができました。

米原市山東小学校の「うみのこ」乗船前出前講座

文責 橋田卓也

山東小学校は、2022年6月16日に佐瀬さん担当し今回で2回目です。2024年4月23日近江長岡駅から教頭先生が出迎えてくれて、学校へ5年生クラス15名で乗船前出前講座とワークショップを実施しました。

WSは、13枚の新カードで取り組みました。児童は熱心に取り組み色々な質問がありました。帰りも近江長岡まで、送っていただきました。今回で、2回目の出前講座となりました少し遠い学校ですが、学校は出前講義に熱心で今後も期待できそうです。

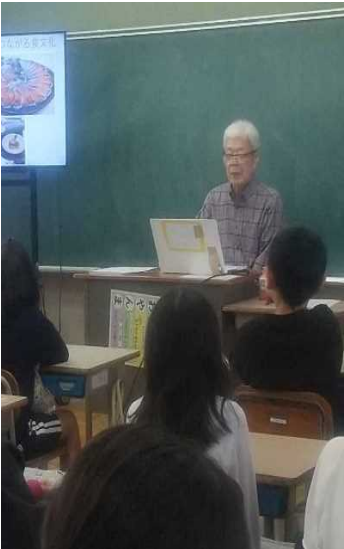


米原市山東小学校

大津市立青山小学校で無事出前講座を終えました

文責 稲田 幸

4月24日（水）橋田氏、前田氏、奴賀氏、吉川氏と、補助員として私稲田の5名で青山小学校に出前講座に伺いました。私は幾分歩行に不自由していることもあり、また移動での車所持していないこともあり、前田氏の車に便乗して参り、出前講座は平野小学校での見学に続いて2回目の体験となり、吉川氏のクラスでの活動を主にしました。当日は4クラスで4氏が各々のクラスで講義をしましたが、学校のテレビジョンやPCと持参したPCやUSBが合わず、また持参したケーブルの長短等合わせて開始前に右往左往する場面が一部にありましたが、大事に至らず無事講座を終えました。添付の記録写真の撮影では不慣れな面と、授業の妨げになってはとの気遣いから入り口からの撮影で、奥の窓からの光で一部が不俊明となり悔やまれる。子供たちは琵琶湖についてある程度の知識を持ち合わせている様子でありましたが総じて真面目な受講でした。課題設定時には多くの意見が飛び交っていましたが、元気のいい子、引き籠もった子等々いろいろで、難しいが引き籠もった子にも発言させる工夫が必要かなとの感ありました。

			
前田	奴賀	吉川	橋田

彦根市立亀山小学校の出前講座の報告

文責 奴賀義春(松村)

平成7年5月2日（木）の3時間目と4時間目に松村さんと亀山小学校で出前講座を実施致しましたので報告させていただきます。

松村さんにはサポートに回ってもらいました。4時限目にワークショップの司会をお願いいたしました。生徒数が60名ほどでしたので、丁度良いと存じます。松村さんは早く自立して使える人材だと存じます。早く自分の講座のパターンを身に着けていただければ良いと存じます。ワークショップも生徒の意見も良く出ていたので、私の印象では良い学校のイメージが残りました。先生も明るい方が多いので、上手く子供を育てて頂ければ良いと存じます。小規模な学校ではあるが、彦根市の南彦根に近いので、住宅団地が2～3か所出来れば良いのになあと考えてしまいます。



彦根市立亀山小学校

湖南省立岩根小学校は、気持ちの良い学校でした

文責 奴賀義春(松村)

令和6年7月12日(金)3時間目と4時間目に岩根小学校にて出前講座を実施して参りました。松村さんにサポートをお願いいたしました。この学校は小規模ながら、校長先生が大変しっかりした方で、その方針が生徒に行き届いたことが良く感じられた学校でした。

楽しい学校という印象でした。3時間目の授業も良く質問も出ており、4時間目のワークショップも意見がよく出ておりました。誰一人教室から出ていく子供はおらず、やり易い学校でした。良い伝統を引き継いで頂きたいと願います。良い学校というものは、授業が終わってからも、校長室に戻る道すがら、どの生徒からも挨拶されることから、印象付けられます。本当に気持ちの良い学校でした。



湖南省立岩根小学校

レイカディア大学草津校出前講座びわこ学科45期生

文責 橋田卓也

7月17日(水)13時から「びわ湖の今と昔を学びこれからを考える」とw s「課題と解決を考える」についてPPTを使った講義をし、休憩後14時よりワークショップをおこないました。この日の45期びわ環は19名で4班(4名~5名)実施しました。1班「琵琶湖のマイクロプラスチック問題」~今後、絶対に人類が考えていかねければならない問題、今、一番生活に密着した課題である。2班「サステナブルな漁業」、~生態系の保護・放流産卵場所の整備について

1班: テーマ:琵琶湖のマイクロプラスチック問題

(1) 理由と意見と今後の展望・解決案

*今後、絶対に人類が考えていかねければならない問題。今、一番生活に密着した課題である。

*マイクロプラスチックの危険性を広く浸透させる。プラスチック以外の製品使う。

2班: テーマ:サステナブルな漁業

(1)理由:環境保全・生態系の保護・放流産卵場所の整備。解決案

食べよう・買おう
需要



売ろう
供給



平和堂などスーパーでの朝市開催へ

3班「琵琶湖の外来魚」~漁師と調理人がシステムを作ってレストラン等に提供する。4班「びわ湖システム復活」~水源の保全~環境に配慮した農業~伝統的なびわ湖の業法~伝統的な食文化お祭り、4つのシステムを其々担当でびわ湖システムの復活をして行くテーマ選んでワークショップすめて行きました。各班ともテーマを選んだ理由、意見と今後の展望・解決策ついてまとめてもらい、最後には発表をして終了しました。皆さんとても上手に、分かりやすくまとめていました。

大津市朝鮮学校初めての出前校座へ

文責 稲田 幸

7月19日(金)朝鮮学校に私稲田が出前講座に伺いました。当該学校は相模川沿い木の下町

にあり私の家からはほど近く、時々近所を通る所で
あり自転車で伺いました。在日の子弟が学ぶ学校で
すが、ご多分に漏れず在日でも少子化の模様で、対
象は男女2名の子で内一人の男児は私の家のすぐ近く
の子でした。詳しくは把握していませんが学校全体
でも少数の模様でした。担任教師との会話は母国語
、私との会話は日本語でした。
琵琶湖についての知識は余り多くなさそうには感じ
たが関心はある模様ではあった。



滋賀初級朝鮮学校

第Ⅲ期フローティングスクール会議担当は10校以上 文責 稲田 幸(4名参加)

8月9日(金)第Ⅲ期FS指導計画会議が県庁北新館5階Bであり、会議に集まる各小学校の担
当者に、会議前と会議後に面談して琵琶湖学の出前講座を、授業の計画に組み入れて頂けるよう資
料をお渡しし、説明を加えてお願いしました。会議は午前と午後の2回あり、午前の部は10時か
ら11時30分、午後の部は14時から15時30分。午後の部に橋田氏、奴賀氏と初めての私の3名
が参加しました。参加者の先生方も慌ただしくお聞き願ひ資料の確認頂いた。午前の部は別途4名
が参加。当会議は県内の小学校全校が対象で指導計画の確認がなされます。参加者は開始前20分
～30分前に来場されるので、会議前の僅かな時間に手短かに話し掛けるのである。

	港ブロック	航海数・ 学校数	期日	時間	会場
Ⅲ期 第69回	大津港 おおつ港A・B (旧帰帆島港)	20航海 40校	令和6年 8月9日(金)	10:00 ～ 11:30	滋賀県庁 北新館 5-B会議室
～ 第102回	琵琶湖大橋港 びわこ大橋港A・B (長命寺港)	14航海 33校		14:00 ～ 15:30	



彦根市立若葉小学校での「うみのこ」学習支援活動

文責 松村順子

9月19日(木)、彦根市立若葉小学校でフローティングスクールの事前学習の出前講座を行いま
した。JR河瀬駅から歩いて15分、山を背景に大木
に囲まれた威厳のある校舎が目に入ります。
校舎には廊下と壁がない開放的な教室のデザイン
にまず驚き、確固たる教育理念の証とも実感しま
した。小規模の学校で、5年生は一クラスで31名
。授業は、琵琶湖の話が3時限目、ワークショップ
を1時限目に予定していたのですが、前半の説
明にほとんどの時間を使ってしまいました。
若葉小では3時限と4時限の間にチャイムがなら
ないため時間配分に失敗。また、生徒たちが話を
よく聞いて、質問のやりとりも面白くて度々脱線



彦根市立若葉小学校

していたのです。探求型学習をめざしておきながら、各班はテーマを話し合っただけで目標まで達成できずに終了し、担任の先生にテーマからのまとめを指導し報告してくださるようお願いしたのです。驚いたのは、恐縮して退出する直前男子生徒が「有難うございました」と温かい握手をしてくれました。後日、各班のワークショップの結果とフローティングスクールでは有意義な2日間を過ごすことができたとの報告も担任の先生から届きました。誠に未熟であったと反省するばかりです。

祇王小学校での出前講座報告と乗船後の児童の発表会へ

奴賀義春(橋田)

野洲市立祇王小学校5年生に対するフローティングスクール前出前講座で10月1日(火)1時間目、2時間目に実施しました。事前訪問しておりましたので、迷わずお伺いできました。この学校も「うみのこ」に乗船する日程が近いため、事前勉強も実施していたようで、私のびわこの2万年前から100万年前の滋賀県の状態を説明したら、大変びっくりされ、深く掘り下げられて、びっくりしましたと仰っておられました。



発表会で奴賀さんが講評

この子たちが「うみのこ」に乗った後の感想を聞かせて欲しいなと言っていたら、
*本当に12月17日に本当初初めての乗船後の発表会へ招待いただきました。感謝感激です。
学習の発表会に初めて招待され「フローティング」学習で児童がこれまで学習した成果発表会に奴賀、橋田が参加しました。1クラスで45名の2クラスで1クラス9班各班毎に、電子黒板を使って発表しました。テーマはプラスチックごみ、外来種対策、食文化、固有種を守る、水鳥、びわ湖の生き物でした。クラス毎に、奴賀さんが講評をしました。その後、どのようにして児童のテーマが決まっていくのかについて担任の先生と交流しました。1つは、乗船前出前講座、WSの課題で特にWSによる課題学習により大きなインパクトを受けた。2つは、フローティングスクール乗船中の講座と実験・体験学習により課題に確信を深めて決まっていききました。事前学習の大切さを感じました。

甲賀市立第3小学校での「うみのこ」学習支援活動

文責 松村順子

10月24日(木)甲賀市立第3小学校でフローティングスクールの事前学習の授業を行いました。JR草津線寺庄駅から廃止になったバスの代わりに利用できるタクシーで往復しました。第3小に通う生徒の中には、スクールバス代わりにこれで通学する子がいるそうです。滋賀県内でも教育環境の違いを知りました。第3小では、僻地にちかい地域の小規模な小学校だからこそのきめ細かな学校教育がなされており、「鳥」中心の自然をテーマに全校での取り組みがあって、チャイムが小鳥のさえずりなのも印象的でした。5年生のクラスはたった3名。1年



甲賀市第3小学校

生から一緒に3人は、躰の良い家族のような和やかな雰囲気でした。授業では、3名それぞれが、琵琶湖の何を
知りたいか何を期待しているかなどを、積極的に発言もしてくれました。前半の3時限目で男子生徒が少し無口
で気になっていたところ、自分で考えた「ことりクイズ」の答えを休み時間に全校に放送する当番だったので緊張
していたのでしょうか、放送を終えて教室に戻ってからは笑顔が見られるようになり私もホッとしました。授
業の後は、生徒たちと担任の先生と一緒に給食をいただきました。久しぶりに食べた給食のパンはとても美味し
かったです。後日には、生徒たちから記念写真と感謝のお手紙や年賀状も届きました。拙い授業ながら、嬉しい
心温まる思い出となりました。

大津市市立日吉台小学校でWSの授業を先生方も参加していただく 文責 奴賀義春

日吉台小学校での出前講座の報告の件 首件に関し
報告させていただきます。大津市立日吉台小学校5年
生に対する出前授業を令和6年10月24日(火)
5時限目、6時限目に実施いたしました。2クラ
スでしたが、学校の協力で教室を移動頂き、一
人でやりとげることができました。学校には迷
惑をおかけしましたが、無事時間通りにやりき
ることができました。先生方には大いに迷惑をお
掛けするも、先生方にもワークショップに参
加いただくことで、余裕で終了することができ
ました。先生方も参加できて良かったと仰っていました。この一年このやり方が私にとって定番
になったことは大きいと存じます。先生方も参加できて良かったと仰っているのだから、一つの
パターンとして問題ないのではないかと存じます



大津市立日吉台小学校

三雲東小学校出前講座WSに授業を先生が主体になって進める 文責奴賀義春(橋田)

令和6年10月20日(金)3時限目、4時限
目に出前講座を実施しましたので報告させて
いただきます。2クラスありましたので、橋
田理事長と二人で伺いました。事前訪問して
おりましたので、迷うことなくお伺いできま
した。同じパターンでの授業を展開しました
ので、スムーズに進めることが出来ました。
ここも2時限目は先生を主体に進め、私はサ
ブに回って進めることが出来ました。途中少し
、私の発言が多くなりましたが、先生も頑張っ
てくれました。ある意味で成功したパターンで
はなかったかなと思います。だんだん1時間
目の消費時間が少なくなり、今回40分で終わり、
5分くらい復習に宛てました。



三雲東小学校

11月13日（水）、レイカ大46期生への出前講座を栗東自然観察の森で実施し、レイカ大生40名、支援士会から4名が参加しました。午前中の第1部は、支援士会の橋田卓也理事長による「ウォーキングから自然環境保護・保全活動へ」をテーマに、「日本の森林と里山の役割」についての講演が研修室で行われ、里山の現状と自然観察やウォーキング・山歩きの効果などについて学びました。昼食後の第2部では、2班に分かれ同じ栗東の森のAコースを時間差を空けて回りました。支援士会からの案内スタッフは2名、栗東の森の職員さんとレイカ大職員にも助力をお願いして、無事にコースを回ることができました。気楽なウォーキングの中で、ツワブキの花、紅葉したハナノキやイチョウ、サクラの葉を観察し、ウロラジロのグライダー飛ばしで競争したり、スタジイのドングリ探しに夢中になったり、ホウノキの大きな枯葉に驚かされ、フィトンチッドを嗅ぐ森林浴もできました。私は、今回初めての案内役で緊張の連続でしたが、森から小屋に戻った時に皆さんがお礼の拍手をしてくださり、皆さんのやさしさのお陰と感謝の気持ちでいっぱいでした。参加者のみなさんからも、「勉強になった」「もっと歩きたかった」「短時間だったが、心も体もリフレッシュできた」という声が寄せられました。



ツワブキの花



第1部 橋田氏による講義



第2部の森林浴の様子

雄琴小学校の「うみのこ」ワークシートを使うことでテーマが広がった。文責 橋田卓也

25年1月28日乗船前学習後、担任、校長先生と懇談：ワークシートは一人ひとりがびわ湖の興味を引出し、テーマが広がった評価された。学校のびわ湖学習は、「青いびわ湖」で古くてびわ湖のテーマ少ない。支援士会のテーマは現在に即している。ワークシートの課題として（＊いいところ、守りたいところは○。問題と思うところ、興味があるところは△）を、1人1人が、全項目の内か一つ選ぶのか、又は複数選ぶのかにより○・△をつけるのか決める必要がある。今回、担任先生からWSでタブレットを使用は、外してと言われました。○情報を集めるびわ湖ハンドブックやWV情報について準備していきました、今後の課題となりました。



大津市雄琴小学校

丹波喜徳さんの弔問について

環境学習支援士会理事一同

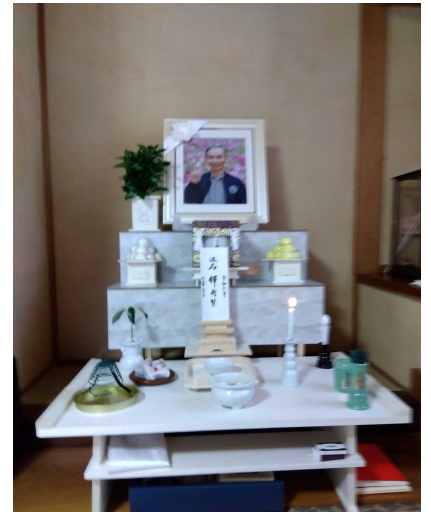
9月28日に丹波宅へご弔問しました。7月に丹波さんが倒れて、救急搬送され肺炎と診断され、3週間入院された後退院され自宅療養され普通の生活をされていましたが、再度倒れて病院で8月28日にお亡くなりになりました。丹波さんは2008年滋賀大学「環境学習支援士」会結成総会で会計監査に選出され2024年まで継続して支援会の発展に活躍されてられました。丹波さんは、近江八幡市近江水環境自治協議会の会長として活躍され2014年環境保全活動功労者に選ばれ、環境省水・大気環境局長表彰を受けた。同協議会は、2000年に組織され「きれいな水」をキーワードに複数の小グループを協議会内に立ち上げ、琵琶湖お魚探検隊や長命寺から水ヶ浜までの湖畔の清掃活動、西の湖での市民自然観察会などに取り組み、協議会全体としても西の湖のヨシ原を守るヨシ刈り、「身近な水環境の 全国一斉調査」に参加するなど、顕著な活動で学生や自治体、企業の参加を増やすなど活動の輪が広がっていることが評価された。



橋本 繁さん弔問について

環境学習支援士理事一同

奥様より電話で11月21日より肺炎入院で入院し11月21日入院11月30日に病院で死去された旨、連絡があり、入院中も第14回シンポジウムの開催・応募者などに心配されていたお聞きました。橋本さんは、2008年結成大会から会員で2009年から理事、2011年から温暖化部会長を担当し温暖化部会活動を定期化し2023年度まで続けました。シンポジウム企画・運営・進行に活躍されました。シンポジウムは、年1回開催で今年度を含め14回開催しましたが、シンポジウムのテーマが温暖化に関連するテーマは、橋本さんが企画案テーマ設定の背景「講演内容と講演者(案)などの提案があり皆で議論していきました。又シンポジウムへの動員力やシンポジウム参加者アンケートなどに貢献されました。2024年度から、肺炎により理事会に参加できなくなりましたが理事として理事会のサポートをされてきました。残念ではありません。



前田 雅彦さん弔問について

環境学習支援士理事一同（奴賀・橋田）

2月5日理事会の前日に、奥様から、1月22日夜床につかれ、翌朝1月23日に朝に起こしに行ったら死去された旨、連絡を受けました。2月5日に全理事に連絡しました。2月6日の理事会で、お世話になったものとして2月13日に理事会を代表して、橋田・奴賀で弔問いたしました。滋賀大学「環境学習支援士」会結成総会で理事として、琵琶湖部会長、2023年度から副理事長として、支援士会の中心的役割をされていきました。残念でなりません当日に支援士会の資料・物品の引継ぎいたしました。



「うみのこ」5 年生出前講座について

No	年学日	小学校名		担当者
1	20204423	長浜市山東小	「うみのこ」講座	橋田
2	202404424	大津市青山小	「うみのこ」講座	橋田、前田、奴賀、稲田、吉川
3	20240502	彦根市亀山	「うみのこ」講座	奴賀、(松村)
4	20240712	湖南市岩根小	「うみのこ」講座	奴賀、(松村)
5	20240719	大津市朝鮮小学校	「うみのこ」講座	稲田
6	20240917	彦根市若葉小	「うみのこ」講座	松村
7	20241001	野洲市祇王小学校	「うみのこ」講座	奴賀
8	20241020	湖南市三雲東	「うみのこ」講座	橋田、奴賀
9	20241024	湖南第三小	「うみのこ」講座	松村
10	20241024	大津市日吉台小	「うみのこ」講座	奴賀
11	20241219	野洲市祇王小学校	「うみのこ」(発表会)	奴賀、橋田
12	302501	大津市雄琴小学校	「うみのこ」講座	奴賀、橋田

わくわく環境塾夏休み川の探検 応募者親子 15 組参加者 38 名 計 50 名参加予定

No	年・月・日	細川 in 金勝川支流	場所	担当者
1	20240516	栗東市と打合せ	栗東市役所	橋田
2	20240526	栗東市共催申請	郵便：84 円	橋田
3	20240607	チラシ作成 3000 枚	滋賀大学 425 号室	橋田・前田・奴賀・稲田・松村
4	20240705	栗東市打合せ	栗東市カラーコピー	橋田
5	20240707	3000 枚チラシ配布	栗東市教育委員会	橋田
6	20240729	草刈り・抽選会	細川草刈り抽選会	前田、橋田、奴賀
7	20240802	前日準備	コミュニティー金勝	奴賀、橋田、稲田
8	20240803	熱中症警戒アラート	実施日・中止	橋田・栗東市役所
9	20240803	後始末	コミュニティー金勝	橋田・栗東市役所
10	20240805	大津社会保険事務所	ボランティア保険解約	橋田

レイカディア出前講座「ウォーキングから自然観察へ

No	年・月・日	レイカ大学 46 期生	場所	担当者
1	20240525	自然観察会 1 回目実施	栗東自然観察森	橋田・前田・奴賀
2	2024 1031	自然観察会 2 回目実施	栗東自然観察の森	橋田・奴賀
3	20241101	自然観察会 3 回目実施	栗東自然観察の森	橋田・前田・松下
4	20241112	自然観察会 4 回目実施	栗東自然観察の森	松村・橋田
5	20241113	自然観察会実施日	栗東自然観察の森	松村・前田・奴賀・橋田

田上小学校・天神川・大戸川水質調査・結果発表会 2 クラス 42 名実施

No	年・月・日	田上・天神・大戸川)」	場所	担当者
1	20240927	田上小調査・打合せ	大戸・天神川・田上小	橋田、前田、奴賀、松下
2	20241106	水質調査・結果発表	大戸・天神川・田上小	橋田・奴賀

第 14 回滋賀大学環境シンポジウム

	年・月・日		場所	担当者
1	20240710	立命館上原教授	講演承諾・茨木市立命館大	橋田
2	20240930	阪大大学院教授	9/30 日講演受託	橋田
3	2	神部先生最終打合せ	滋賀大学神部教授室	橋田
8	3	シンポ打合せ・資料	理事会大津（資料印刷）	橋田・前田・奴賀・稲田・松村 稲田、橋田
4	20241210	シンポ資料作成		橋田・前田・奴賀・稲田・松村
5	20241214	第 14 回シンポ開催	参加 47 名（講師）欠席 7 名 受付・司会・挨拶・写真等	橋田・前田・奴賀・稲田・松村 稲田・松村・奴賀・前田・橋田
6	20241214	会員参加者	尾原・辻・川島・吉川・橋田・前田・奴賀・稲田・松村	
7	20241218	シンポ・アンケート	支援士会員参加者に報告	橋田

編集後記

私たちは、今年度 11 校 15 回の「うみのこ」の乗船前の出前講座を 2012 年から今日まで県内の小学校 112 校実地し、県内小学校 219 校の 51.1%実施しました。本文にもありますように第 14 回シンポジウム 2024 年度は実施しました。47 名の人に参加され、質疑応答では、琵琶湖のプラスチックごみの実態が報告されて、参加者のびわ湖のプラスチックごみの関心は高く、シンポジウムで身近な市民生活にどのような影響起きているのかを含めた交流に関心が集まりました。さらに「天神川・大戸川水質調査」や「ウォーキングから自然観察会」に取り組んできました。しかし、これまで活躍されてこられた丹波さん、橋本さん、前田さんの死去に伴い厳しい状況あります。今後の活動内容を見直し、活動のコンパクト化を図っていきます。